

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
高津川流域の減災に係る取組について
平成30年度 第1回協議会

平成30年6月1日

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

〔 益田市、島根県、松江地方気象台、
国土交通省中国地方整備局 〕

1. 平成29年度の実施状況(フォローアップ等含む)

2. 「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画への対応について

3. 平成30年度の実施予定

4. 今後のスケジュール

5. その他

1. ①平成29年度の実施状況（フォローアップ等含む）

平成29年度の取組経過報告(平成30年度協議会開催まで)

平成29年 5月30日 平成29年度協議会
(第1回)

...

規約改正、平成28年度の取組状況、平成29年度実施予定

平成29年 8月 1日 平成29年度担当者会議
(第1回)

...

水防法改正に伴う協議会の運用について、平成29年度の取組状況 等

平成29年10月12日 平成29年度担当者会議
(第2回)

...

平成29年度の取組状況 等

平成30年 3月13日 平成29年度幹事会
(第2回)
平成29年度担当者会議
(第3回)

...

水防法改正に伴う規約の変更について、平成29年度の取組状況、緊急行動計画を踏まえた取組内容(実施方針)の変更、今後のスケジュール 等

平成30年3月28日 平成29年度協議会
(第2回)

...

水防法改正に伴う規約の変更について

平成30年 5月16日 平成30年度幹事会
(第1回)
平成30年度担当者会議
(第1回)

...

緊急行動計画を踏まえた取組内容(実施方針)の変更、平成29年度の取組状況(フォローアップ)、平成30年度の取組確認 等

平成30年6月1日 平成30年度協議会

...

緊急行動計画を踏まえた取組内容(実施方針)の変更、平成29年度の取組状況(フォローアップ)、平成30年度の取組確認 等

※スケジュール(案)は一般的なものであり、状況に応じて協議会等の追加開催や日程変更もある。

平成29年度第1回 高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」開催概要

【概要】

5月30日に平成28年度の実施状況報告、平成29年度の実施予定、今後のスケジュールについて協議会に諮った。あわせて、実施・調整における課題・改善点等を取りまとめ、方向性についても協議会に諮った。その結果、協議会構成員の賛同を頂くとともに、減災に向けて各機関が協力して取り組みを推進していくことを確認した。

【決定事項】

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく高津川流域の減災に係る取組の推進

【主な発言】

- ・島根県土木部長(代): 取組内容が重複している内容を具体的に教えていただきたい。
- ・事務局: 訓練や出前講座等であり、工夫すれば1回に集約できると考える。
- ・浜田河川国道事務所長: 地域の状況に応じ、工夫して減災に努める事が重要である。



第3回高津川水系減災対策協議会の状況

開催日: 平成29年5月30日(火)

場所: 益田市民学習センター 202会議室

参加機関: 益田市、島根県、松江地方気象台、浜田河川国道事務所

洪水速報メール配信

高津川減災対策協 17年度事業決定

国土交通省浜田河川国道事務所と県、益田市、松江地方気象台でつくる「高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」が30日、益田市内で会合を開き、2017年度事業として、緊急速報メールを活用した洪水情報の配信などに取り組むこ

とを決めた。同協議会は16年7月に発足。会合では、同省が5月に始めた、携帯電話などに洪水情報を発信する緊急速報メールの運用をはじめ、企業向けの水害教育推進や大規模氾濫を想定した水防講習会の開催などを17年度事業として実施することに

した。16年度事業として、土のうなど備蓄水防資機材の情

報共有などを目的とした水防連絡会や、自主防災組織など地域住民を対象に、同省のサイト「川の防災情報」の利用を促す説明会などを開いた活動を報告し、減災計画の進捗状況を確認した。

同協議会は、20年度までの取り組み方針を決めており、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目標に挙げ、的確な避難行動▽効果的な水防活動▽浸水を早期解消する排水対策▽を3本柱に順次、施策を展開することとしている。

(小村海)

平成29年5月31日 山陰中央新報

平成29年度第2回 高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」開催概要

【概要】

3月28日に平成29年度第2回協議会を開催し、規約改正について協議会に諮った。あわせて、実施・調整における課題・改善点等を取りまとめ、方向性についても協議会に諮った。その結果、協議会構成員の賛同を頂くとともに、減災に向けて各機関が協力して取り組みを推進していくことを確認した。

【決定事項】

「平成29年度水防法一部改正」に基づく、高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 法定協議会への移行

【主な発言】

・浜田河川国道事務所長：取組方針見直しにおいて新たな取り組み内容があれば紹介して頂きたい。

・事務局：新たな取り組みとして、危機管理型水位計の設置を考えている。

・浜田河川国道事務所長：益田市が設置している簡易水位計には興味がある。

・事務局：危機管理型水位計とは別に、樋門の内外水位に対し簡易水位計の試行を検討中。

・益田市長：一級河川に設置することになれば、大河川でも対応可能になると思われる。

・島根県土木部長(代)：1月23日、益田市の要配慮者利用施設管理者に対し避難確保計画の説明会を島根県下でいち早く開催させて頂いた。

開催日：平成30年3月28日(水)

場所：益田市民学習センター 203会議室

参加機関：益田市、島根県、松江地方気象台、浜田河川国道事務所



平成29年度第2回高津川水系減災対策協議会の状況

1. ②平成29年度の実施状況（代表例の紹介）

①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 避難行動、水防活動等に資する基盤等の整備

○避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【松江地方気象台】

平成29年度出水期に実施した 防災気象情報の改善概要



基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くないとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすく、分かりやすく情報を提供していく。

交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方（平成27年7月29日）より

改善Ⅰ 危険度を色分けした時系列

H29.5.17
提供開始

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【改善策】

平成××年××月×日××時××分××地方気象台発表
××市

【発表】 暴風、波浪警報、大雨、雷、濃霧注意報
【継続】 高潮注意報

発表中の警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 □注意報級)						
	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
1時間最大雨量(ミリ)	10	10	30	30	50	50	30
風向	陸上	陸上	陸上	陸上	陸上	陸上	陸上
浪高(メートル)	5	5	8	8	8	8	7
潮位(メートル)	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.2

【現在】
注意報・警報
(文章形式)

改善Ⅱ 「警報級の可能性」の提供

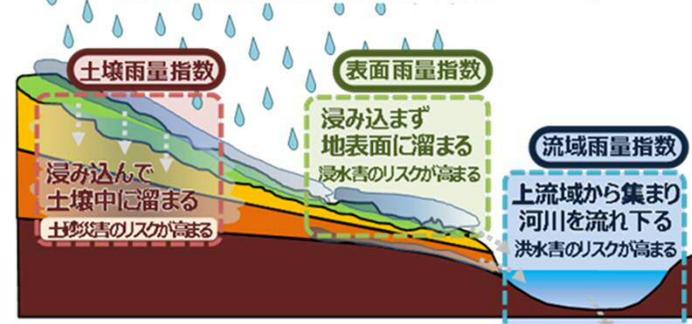
H29.5.17
提供開始

- 夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高なくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付		明朝まで	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性	雨	中	-	-	中	高	-
	風	中	-	-	高	高	-

改善Ⅲ 危険度分布(メッシュ情報)の充実

- 災害発生の危険度の高まりを評価する技術の開発(表面雨量指数・流域雨量指数)
【降雨により災害発生の危険度が高まるメカニズム】



- 大雨警報・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度が高まっているかを確認できる危険度分布の提供



- 危険度分布の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善

洪水情報の緊急速報メール配信訓練・避難訓練実施

【国土交通省、益田市】

6月11日(日)、洪水情報を一斉送信する「緊急速報メール」の配信訓練を島根県益田市で行いました。洪水情報の「緊急速報メール」は、今年5月1日に運用が始まり、メール配信訓練は中国地方では初めてです。

益田市明見団地の住民の方を対象に、洪水と土砂災害の危険性が高まったとの想定で、緊急速報メールを活用した避難訓練が益田市と自主防災連合隊主催で行われました。

11日9時、高津川の水位が「氾濫危険水位に到達した」ことを知らせる緊急速報メールを益田市全域に配信。益田市から防災無線で住民に避難勧告、メール等で情報を得た約100の方が7班に分かれて避難開始。避難したことを知らせるタオルを玄関などに結び、団地内の避難所に集合しました。

避難訓練では、自主防災連合隊主催の「炊き出し訓練」や、国土交通省による「洪水や土砂災害に関する勉強会」も行われました。

益田市明見団地避難訓練

避難訓練の状況



住民の方約100人が避難し、班ごとに整列しています。

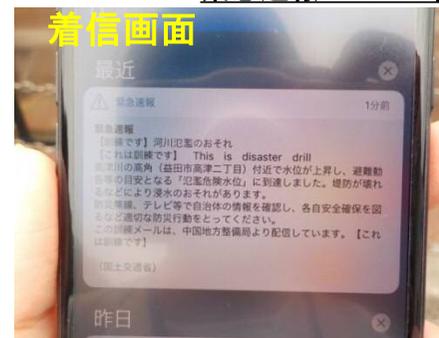
炊き出し訓練の状況



地元の匠が作った美味しいご飯と味噌汁。みんなで美味しくいただきました。

メール配信訓練

緊急速報メールの着信状況



益田市の至る所で携帯電話の着信音が一斉に鳴り響いていました。

着信内容

受信メール
2017/06/11 9:00

【訓練です】 河川氾濫のおそれ
【これは訓練です】 This is disaster drill
高津川の高角（益田市高津二丁目）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。
この訓練メールは、中国地方整備局より配信しています。【これは訓練です】
(国土交通省)

浜田河川国道事務所から水防法等を説明



道路情報板による訓練事前周知



●緊急速報メール配信対象
益田市全域 約47,700名
約21,500世帯



タオルを玄関などに結び避難した合図。

参加者の声

いち早く避難する意識を高めたい。 携帯端末にメールが一斉に届くのは有効な情報伝達手段だと思う。

平成29年度益田市防災訓練を実施

【松江地方気象台、島根県、益田市】

実施日 平成29年10月28日(日)8:00~11:00

参加者 益田市、警察、消防、島根県防災航空隊、地域住民 他 計475名

内容 住民参加型避難訓練、全体公開訓練(水防訓練、河川救助訓練)、各種体験型訓練

(訓練想定)

10月27日昼過ぎから山陰沖に停滞していた前線に南から暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった。28日明け方には山陰沖から中国地方まで南下し、雨のピーク時には1時間雨量最大70ミリ前後を予想。27日17時30分、益田市に大雨洪水注意報が発表され、その後も雨は降り続き、28日3時に大雨洪水警報に切り替わり、降り始めからの雨量が200ミリを超え高津川の水位が上昇。高津川氾濫警戒情報が発表されたことにより、水防センターに市長を本部長とする災害対策本部を設置と住民避難を想定。(松江地方気象台)



河川災害・土砂災害に備え、要配慮者利用施設の管理者向け説明会の実施

【国土交通省、島根県、益田市】

平成30年1月23日、益田市で河川災害・土砂災害に備え、要配慮者利用者施設の管理者の方に対する説明会が行われました。説明会は、平成29年6月に水防法ならびに土砂災害防止法の一部改正を受けて行われました。当日は、雪が降る寒空のもと、53施設68人が参加されました。

参加された方は、熱心に耳を傾け、各機関の担当者からの話されるポイントを記録されていました。



【益田市危機管理課長挨拶】



【全体の様子】



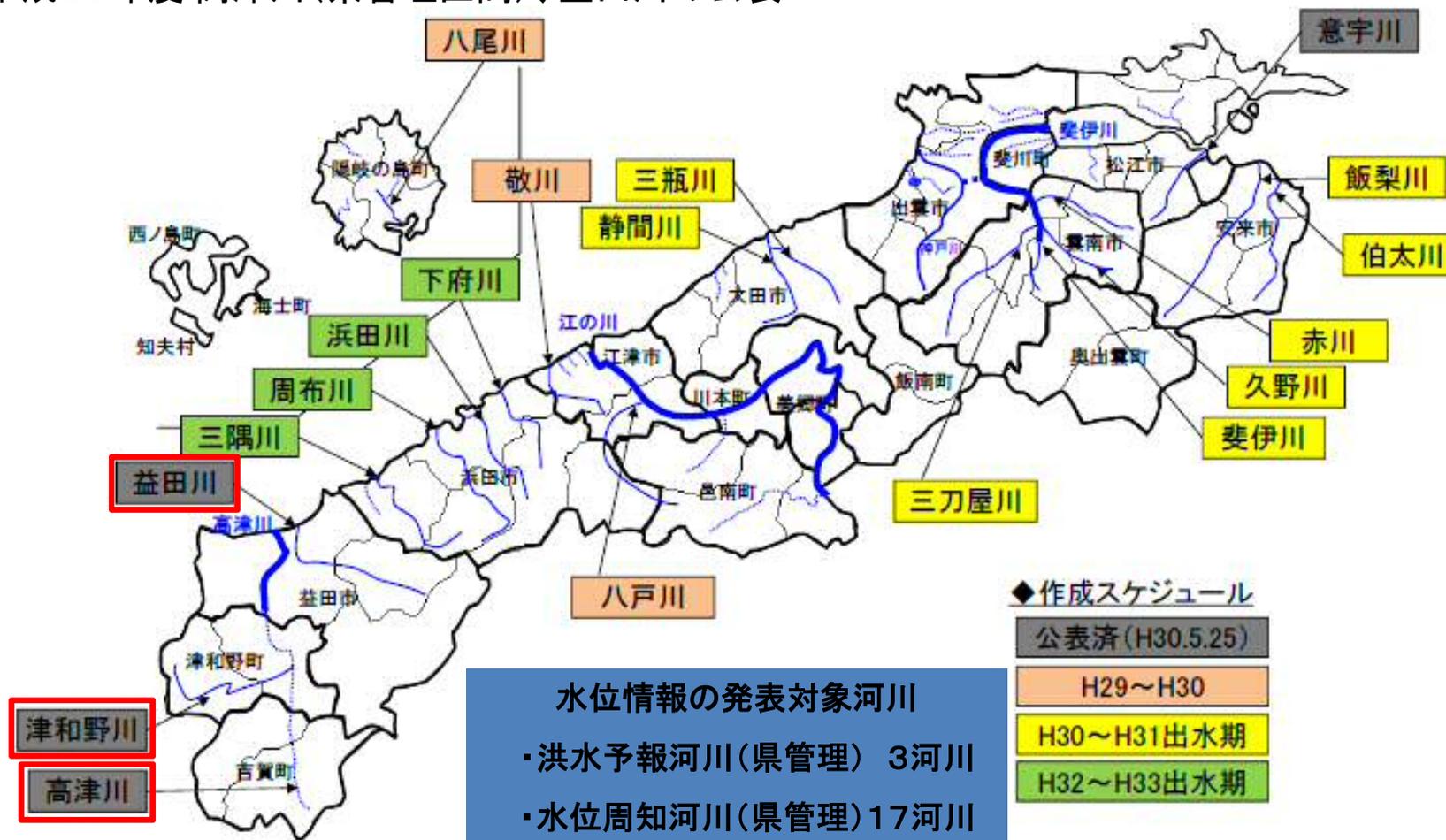
【各機関担当者の説明(左から国土交通省、島根県河川課、砂防課)】

- ①住民が自ら危険を認識した的確な避難行動を行うための取組
- 想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

○想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図等の公表(島根県)

県管理の洪水予報河川及び水位周知河川 19河川について、想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図作成。

平成30年度 高津川(県管理区間)、益田川の公表



水位情報の発表対象河川
 ・洪水予報河川(県管理) 3河川
 ・水位周知河川(県管理) 17河川

- ◆作成スケジュール
- 公表済(H30.5.25)
 - H29~H30
 - H30~H31出水期
 - H32~H33出水期

2. 「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画への対応について

「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画

- 国土交通省では、「水防災意識社会」の再構築に向け、関係者が協力して概ね5年で緊急的に実施すべき事項について、「緊急行動計画」をとりまとめ

緊急行動計画とは

- 国土交通省では、平成27年の関東・東北豪雨災害、昨年8月の台風10号等による豪雨災害を受け、「水防災意識社会」再構築の取組を推進しているところ
- 平成29年1月の、「中小河川等における水防災意識社会の再構築のあり方」の答申を受け、国土交通大臣から、提言された取組についての具体的な行動計画を早急にとりまとめるよう指示
- 国・県管理河川において概ね5年で実施する各種取組の方向性、進め方や国の支援等について、「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画としてとりまとめ

緊急行動計画における主な取組

- ①水防法に基づく協議会の設置
 - ・平成30年出水期までに水防法に基づく協議会を設置
 - ・平成30年出水期までに概ね5年間の取組内容を「地域の取組方針」としてとりまとめ
- ②水害タイムラインの作成促進
 - ・国管理河川は作成目標を大幅に前倒し、本年6月上旬までに作成が完了
 - ・都道府県管理河川は協議会を活用し、対象市町村で平成33年度までに作成
- ③要配慮者利用施設における避難体制構築への支援
 - ・平成29年度中で関係機関が連携して全国3地域（岩手県、岡山県、兵庫県）のモデル施設で避難確保計画を検討・作成し、得られた知見を、協議会を通じて共有
 - ・平成33年度までに対象の要配慮者利用施設で避難確保計画の作成。避難訓練の実施

「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画への対応について

緊急行動計画における主な取組より抜粋

①水防法に基づく協議会の設置

- ・平成30年出水期までに水防法に基づく協議会を設置
- ・平成30年出水期までに概ね5年間の取組内容を「地域の取組方針」としてとりまとめ



●水防法に基づく協議会の「法定化」及び「取組方針の内容確認・見直し」

- 協議会規約改正
- 取組方針の内容確認



平成30年出水期までに

- 協議会規約改正 → 平成29年度第2回協議会(H30. 3. 28)にて規約改正済
- 取組方針の内容確認 → 平成30年度協議会(H30. 6. 1)において「地域の取組方針」としてとりまとめ

地域の取組方針

○協議会規約改正（法定化）とあわせ、既存の取組方針の見直しを行うものである。

平成27年12月11日、関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿川市町において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

※高津川水系では、平成28年7月13日に協議会を設立、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく高津川流域の減災に係る取組方針を平成28年9月28日に策定し、関係者が協力して減災に努めているところ



平成29年6月20日、「水防災意識社会」の再構築に向け、関係者が協力して概ね5年で緊急的に実施すべき事項について、「緊急行動計画」をとりまとめた



「地域の取組方針」は、新たに策定するものではなく、既存の内容確認・見直しを行うもの



平成30年出水期までに、「地域の取組方針」をとりまとめ、関係者が協力して実施。

「地域の取組方針」の対応

緊急行動計画、平成29年度までの状況を振り返った結果、「地域の取組方針」は以下のとおりとする。

● 新規項目(2項目)

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備

※② 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 ■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備 に再掲している

② 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・樋門の無動力化の推進

※③ 浸水を一日も早く解消するための排水対策 ■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備 に再掲している

● 修正項目

① 住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

■ 多様な防災活動を含むタイムラインの作成

- ・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの拡充
 - 全国の先行事例(20地域)の状況を勘案し検討を進める。目標年度を「H30年度」から「H32年度」に変更
- ・避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合防災訓練等の実施
 - 総合防災訓練は、水害に特化した訓練ではないため、対象を広げる。

② 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化

- ・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施
 - 総合防災訓練は、水害に特化した訓練ではないため、対象を広げる。

③ 浸水を一日も早く解消するための排水対策

■ 排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- ・排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水作業準備計画(案)の作成
- ・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施

上記内容も含め、「緊急行動計画」を踏まえ、関係機関と連携し取り組む。取組状況は、協議会等の場で共有するとともに、フォローアップを行う。

概ね5年で実施する取組(1/2)

①迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進

- ・高津川改修

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上
- ・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備

■想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域に基づく避難計画の見直し
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し
- ・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供
- ・夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導體制の検討
- ・高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付

■多様な防災活動を含むタイムラインの作成

- ・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの拡充
- ・避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合防災訓練等の実施

■防災教育や防災知識の普及

- ・高津川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開
- ・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知
- ・小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実
- ・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施
- ・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信

概ね5年で実施する取組(2/2)

② 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)
- ・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備(再掲)
- ・樋門の無動力化の推進

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化

- ・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施
- ・高津川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施
- ・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施
- ・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における広域的な相互支援方法の確認
- ・市庁舎の水害時における対応について、業務継続計画を策定
- ・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施

③ 浸水を一日も早く解消するための排水対策

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・高津川改修(再掲)
- ・樋門等の修繕計画を作成し、計画的に予算を確保し修繕を実施
- ・樋門の無動力化の推進(再掲)

■ 排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- ・排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水作業準備計画(案)の作成
- ・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施

3. 平成30年度の実施予定

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

③ 浸水を1日も早く解消するための排水対策

洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進

○高津川改修

【順次実施：中国地整】

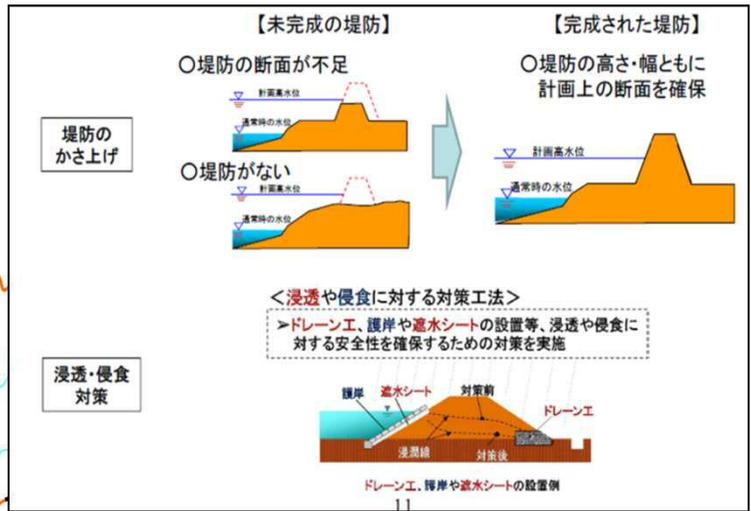
洪水を安全に流すための
ハード対策 概要図
＜高津川＞

凡例
■ 浸透対策
■ ハ化ンク対策
■ 流下能力対策
■ 侵食対策



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

実施区間延長 (重複無し)	内訳			
	浸透対策	ハ化ンク対策	流下能力対策	侵食対策
1.5km	0.4km	0.4km	1.5km	—



○流下能力が著しく不足している、あるいは漏水の実績があるなど、優先的に整備が必要な区間約1.5kmについて、平成32年度を目途に浸透対策などの対策を実施。

凡例
— 直轄河川管理区間
— 流域界

①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 多様な防災活動を含むタイムラインの作成

○河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの拡充
【H32年度：協議会全体】



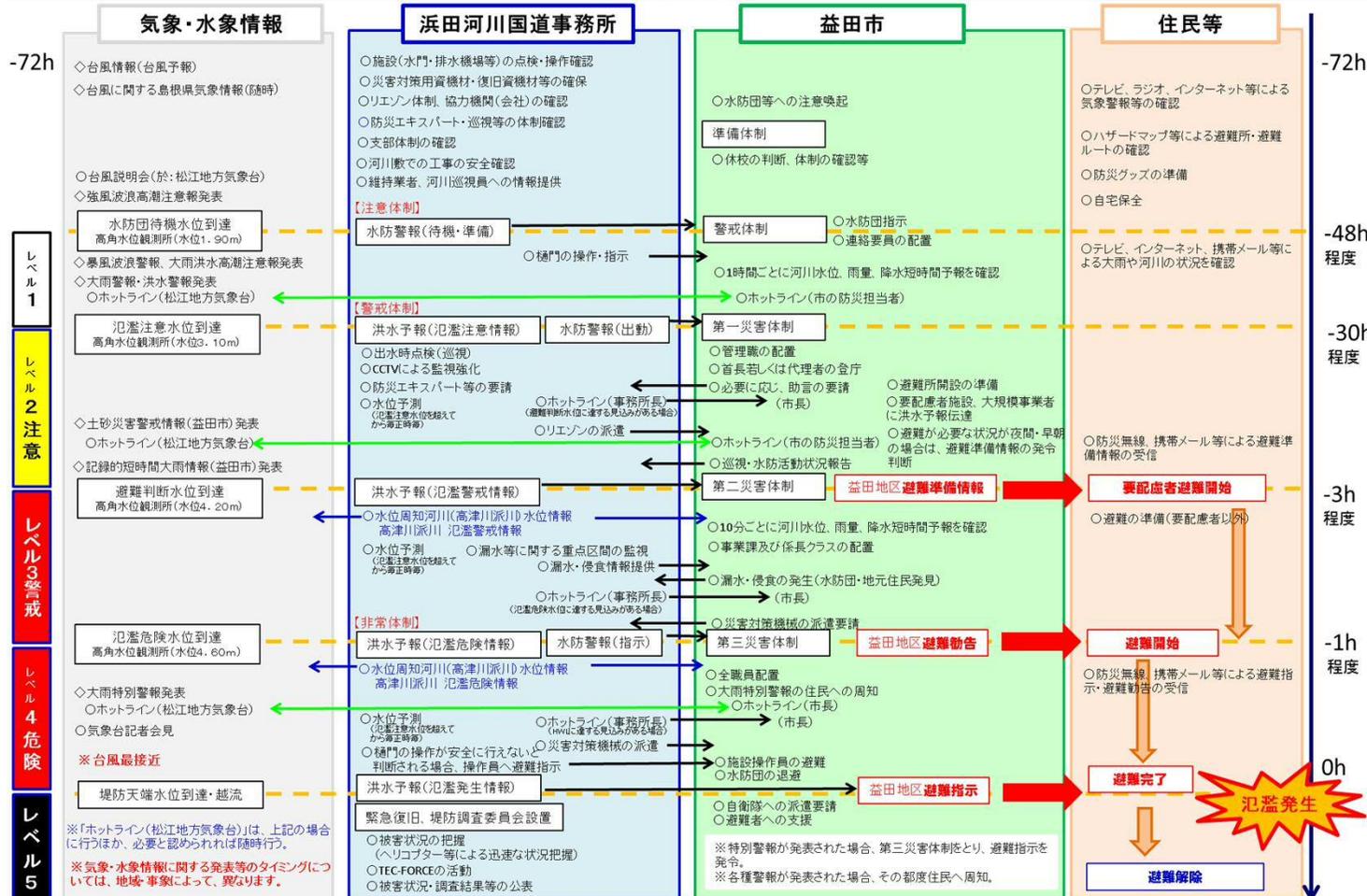
①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 多様な防災活動を含むタイムラインの作成

○避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合防災訓練等の実施

【H29年度から定期的に実施：協議会全体】

台風の接近・上陸に伴う洪水(前線による洪水)を対象とした、直轄河川管理区間沿川の市町村の
避難勧告の発令等に着目した**タイムライン**(防災行動計画)(案)【記録検証用】

高津川
高角水位観測所



関係機関



気象台
国土交通省



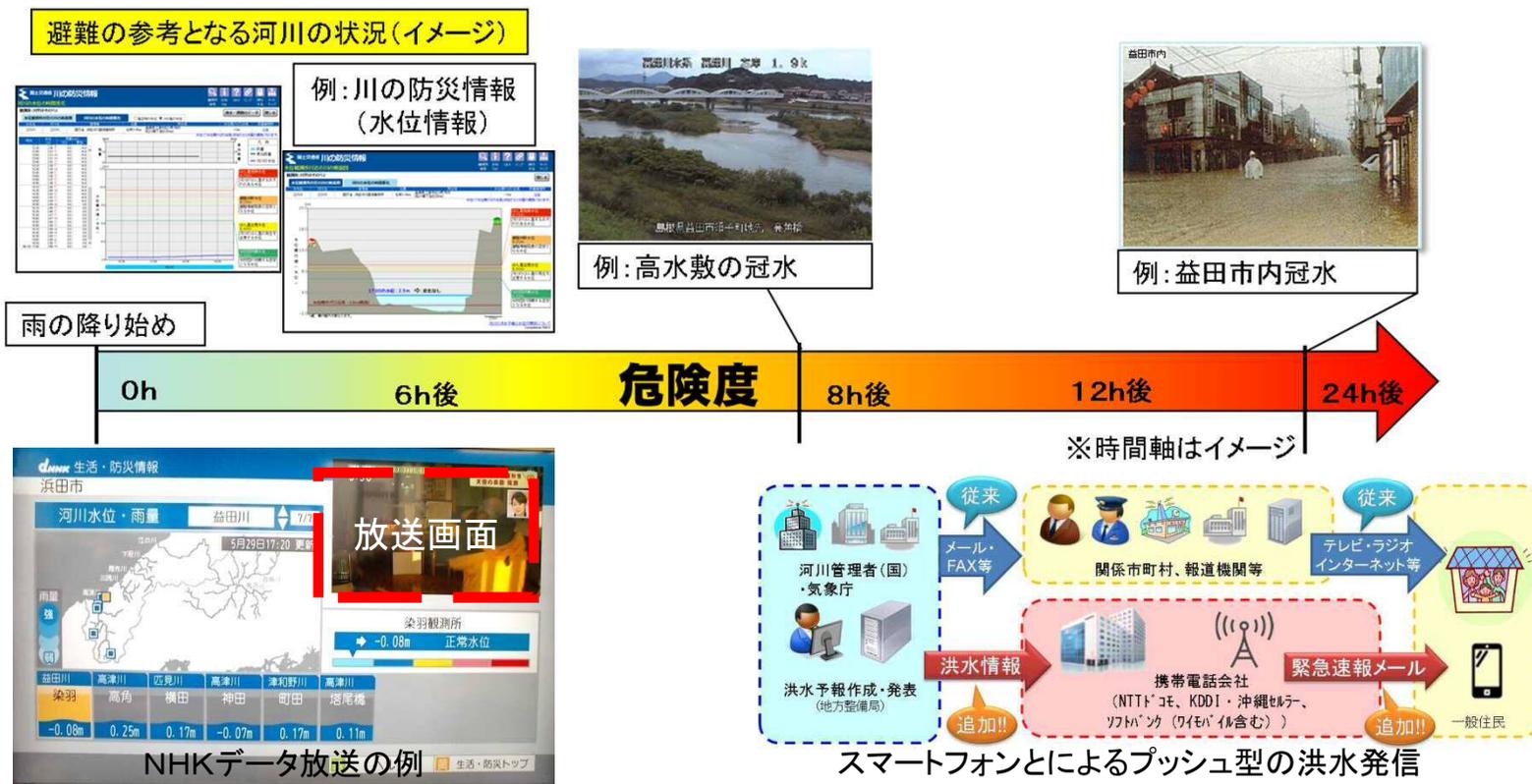
気象台・国土交通省から関係機関へのホットラインを盛り込んだ訓練の実施

※避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(内閣府:平成26年9月22日運用開始)を参考に作成。また、都道府県からの情報もあるが、割愛している。
※時間経過や対応項目については昭和47年7月洪水による気象状況、現在の防災業務に関する計画等を参考に記載している。
※このタイムラインは住民避難勧告の発令に着目したものであり、今後台風接近等の事態に至った場合の対応を実践し、その有効性の検証を行い、実践的に改善するものである。

H27.4版

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 防災教育や防災知識の普及

- 高津川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開 【H29年度：中国地整】
- 「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知 【H28年度から定期的の実施中：中国地整】
- 小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実 【H29年度から順次実施：協議会全体】
- 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施 【H29年度から定期的の実施：協議会全体】
- スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信 【H29年度：中国地整】



②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 水防活動の効率化及び水防体制の強化

- 消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保
【H28年度から定期的の実施中：益田市】
- 高津川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施
【H28年度から定期的の実施中：益田市、中国地整】
- 水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施
【平成29年度から定期的の実施：協議会全体】
- 備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における広域的な相互支援方法の確認
【H28年度から定期的の実施中：益田市、島根県、中国地整】
- 市庁舎の水害時における対応について、業務継続計画を策定
【平成28年度：益田市】
- 樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施
【H28年度から定期的の実施中：益田市、中国地整】

【益田市内田・市原地区での共同点検の実施状況(H27.12)】



消防団員と兼任する水防団員、住民との共同点検の実施



【樋門操作説明会状況(H26.5益田市)】



樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施

③浸水を一日も早く解消するための排水対策 排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- 排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水作業準備計画(案)の作成
【H31年度:益田市、島根県、中国地整】
- 排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施
【H32年度から定期的に実施:益田市、島根県、中国地整】

排水ポンプ車排水訓練状況
(平成28年6月、高津川左岸(益田市高津町))



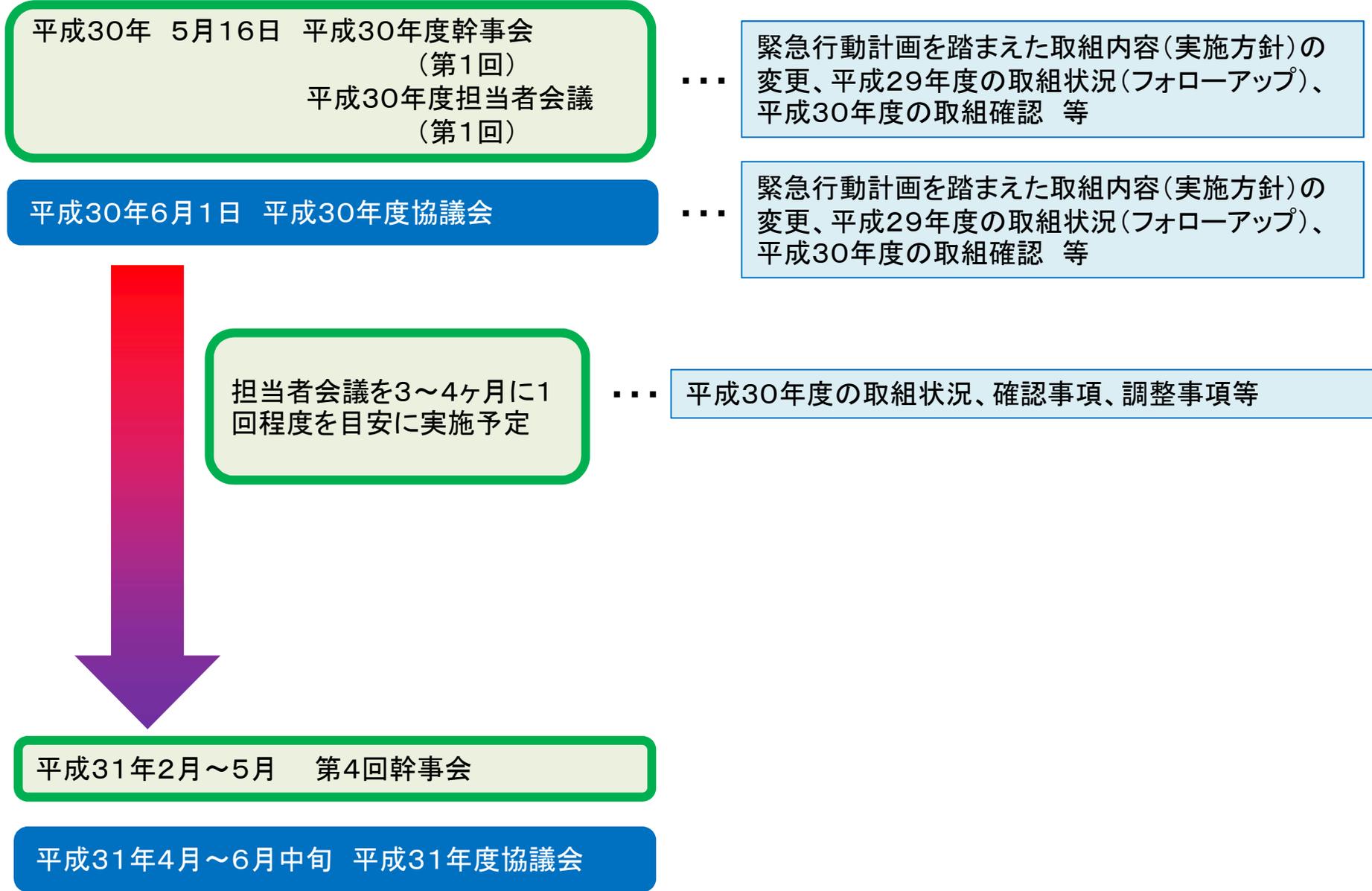
排水ポンプ車運転状況
(平成25年7月出水、南田川水門付近)



排水施設の情報提供、ポンプ車の的確な設置場所・ルート、必要な排水量(台数)、浸水エリア等の基礎的情報の入手方法を事前に計画し、緊急時の早急な対応を可能にする

4. 今後のスケジュール

今後のスケジュール(案) (平成31年度協議会開催まで)



※スケジュール(案)は一般的なものであり、状況に応じて協議会等の追加開催や日程変更もある。